



# 最新鋭 16列マルチ スライスCT 導入

9 月初旬、放射線室に心臓検査もできる最新鋭CT装置「16列マルチスライスCT」を導入しました。同装置は、県内で数台しか導入されておらず、従来では難しかった心筋梗塞、狭心症などの疾病に対する撮影や、非常に細い血管などの撮影が可能となります。

1 回転0・4秒(世界最速)で16断面(画像16枚)を撮影でき、撮影時間の短縮と撮影範囲の拡大をもち合わせています。これまでの4列マルチスライスCTに比べ4倍早く撮影でき、胴体部分の精密な撮影を僅か6秒で完了することも可能です。さらに、1断面当たりの厚さが0・5mmと薄く、CT本来の横断面像だけでなく、正面像や側面像など体をあらゆる角度から高精細な画像で観察できます。

**従** 来15秒間の息止めが必要な胸部・腹部撮影を僅か5秒で撮影でき、X線被爆量も減少したため、患者さんの負担が大幅に軽減されます。また、交通事故などの外傷で、3次元画像観察を目的とした広範囲の撮影、臓器や血管の形状、出血の有無、腫瘍の形状観察、緊急検査への迅速な対応、手術前後の状態の観察などに威力を発揮すると期待されています。



## 透析患者さんらが旬のお弁当に挑戦

人工透析を受けている患者さんとその家族を対象とした料理教室

が9月28日(日)、徳育保健センター 食育の部屋で開かれ、栄養士らの指導のもと29人が参加しました。

透析の食事は、水分、塩分を制限し、カリウム、リンも抑えることが大切ですが、一方で適正なタンパク質と十分なカロリー摂取が必要です。

栄養士らの指導で、「松茸ごはん」「いがり団子の天ぷら」「煮しめ」「さんま蒲焼き」「菊花和えと兔りんご」の季節に合ったお弁当づくりに挑戦しました。

参加者は、行楽に出かけた気分です。松茸の香りと秋の味覚を楽しみました。



五島院長

鈴木直子  
(検査室)

伊藤副院長

## 国際細胞検査士に鈴木さん認定

このたび2年に1度行われる国際細胞検査士の試験において、検査室の鈴木直子臨床検査技師が国際細胞検査士に認定されました。(現在、世界の有資格者は約9000人)

これにより当院では2名の国際細胞検査士がいることとなります。

当院において、癌細胞や疾患原因になる細胞等のさらなる早期発見、診断、レベル向上に努めます。